

「ふるさとの学び特別賞」

| | | | |
|-----|---------------------|-----|------|
| 学校名 | あわら市金津中学校 | 校長名 | 荒川 誠 |
| 住 所 | 福井県あわら市市姫 1 - 5 - 1 | | |

| |
|---|
| 1. 推薦理由 |
| <p>・教育活動全体を通して探究的な学びを推進している本校は、その中核をなす学習として、今年度から総合的な学習の時間を利用して「あわら考幸学」を実践することとした。ふるさと「あわら」を多様な視点から捉え、①実体験や地域との交流による情報収集、②それらを基に個々の探究テーマを設定、③他との協働活動を伴う課題解決策の探究、④探究で得られた成果を郷土の将来についての提言としてまとめ発信 等の活動を通して、未来のあわら市を主体的に創る生徒の育成を目指すこの取組は、本特別賞に十分値とすると考える。</p> |
| 2. 活動内容テーマ「あわら考幸学の実践」 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・対象は全学年390名。生徒は3年間に渡って計画的かつ継続的に本学習に取り組む。 ・学年ごとに設定した探究課題に沿って学習活動を展開。今年度の課題は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 1年：新幹線開通に伴うあわら市の未来の姿を考えよう。 2年：県内外の地域に学び、あわら市活性化のための課題解決を目指そう 3年：地域活性化のための方策やそれに対する自己の関わり方をまとめよう ・情報収集や論文作成等の諸活動において、地域等の人々と関わる機会を積極的に創出 実践例) お仕事講座として地域の事業所から講師招聘（2年4月） 校外テーマ研修として地域や近県の官公庁や諸施設を訪ね、職員から情報収集（1,2年11月）、市役所や図書館職員から取材（3年9月から常時） 市への提言を論文にまとめる際、市商工会員から助言者招聘（3年8月） ・探究成果に関する中間発表会を定期的に行い他から助言や講評を受けることで、自己の探究について軌道修正をしながら深められるよう配慮する。卒業時には、探究成果をあわら市（郷土）への提言として8000字程度の論文にまとめたり、それらに対する自己の関わり方をレポートにまとめたりする。 |
| 3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む） |
| <p>1年 課題の設定(5月)、課題解決の構想・構築・アプローチ(5～12月)、中間発表会(12月)、省察と新たな課題の設定（1～3月）</p> <p>2年 課題の確認(4月)、あわら活性化への構想(4～5月)、解決策の構想・構築・アプローチ(5～2月)、修学旅行(3月)、省察と新たな課題の検証(3月)</p> <p>3年 修学旅行の学びの検証、(4～5月)、未来のあわら市への提言、論文作成(5～12月)、3年間の学びの振り返りと未来のあわら市への関わり(12～3月)</p> |
| 4. 提出書類リスト |
| <ul style="list-style-type: none"> ・福井新聞記事3点、生徒作成論文(未定稿)1点、活動画像12点 |